

## 「全鍍連」 2020年 5月号 いきいき地域

福井県表面処理工業組合 大井 範夫 (株美装ジャパン 代表取締役会長)

### 「我がふるさと「福井」の魅力」

前回「めがねのまちさばえ」をご紹介させていただきましたが、今回は「鯖江市」を含めた福井県の魅力をご紹介したいと思います。

「鯖江市」眼鏡枠では、国内の約 96 パーセントの生産シェアを持つ、言わずと知れた「めがね」の街です。

鯖江市は昨年人口が 69,469 人となり、1955 年の市制施行以来最多を記録しました。

鯖江市の人口が微増を続けているのは、県都福井市と大企業の工場が多く立地する越前市に挟まれた立地の良さが要因の一つと思われる。

また鯖江市は 2060 年に人口 6 万人台を維持することを目指しており、特に若者の社会動態を増やす施策に力を入れているからです。

メガネフレームのチタン加工技術を応用した医療機器や I T など成長分野への進出を推進し、大企業圏の企業のサテライトオフィス誘致も積極的に行い、若者や女性に魅力のある雇用を創出しています。

ほかにも若者がまちづくりに関わる「市役所 J K 課」や就業など条件を定めず自由に移住体験してもらう「ゆるい移住」などの事業を展開、県外の大学生による河和田（鯖江市の東部にある越前漆器の産地）アートキャンプや、全国から多数の来場がある体験型マーケット「RENEW（リニュー）」などを通じ、交流人口の拡大を図っています。

また福井県は、毎年幸福度ランキングで上位に位置し、自然豊かなところ。

主な観光地としては、サスペンスドラマでも有名な「東尋坊」、開湯約 140 年の「あわら温泉」、日本一の規模を誇る「福井県立恐竜博物館」、天空の城で有名な「越前大野城」、曹洞宗大本山「永平寺」など魅力あるところが沢山あります。

また福井県出身者が良かったと思うことを幾つかご紹介します。

- ・犯罪も少なく幸せに暮らせる。
- ・道路の渋滞がなく、電車も空いている。
- ・お米、お水、お魚が美味しく、越前ガニがスーパーで買える。
- ・海あり、山あり、雪あり、いろいろな自然に触れ合うことができる。

など、単なる田舎と言ってしまうと、それまでですが、大変住みやすく良いところだと思っております。

現在 2023 年 3 月の開通に向けて、北陸新幹線の敦賀延伸工事が急ピッチで進んでいます。

今まで以上に福井へ行きやすくなると思いますので、是非福井・鯖江へお越しください。